民数記14：1−38　　「絶望の中で試される信仰」　　6/17/20

モーセによって遣わされた12名の斥候たち、彼らはカデシュ・バルネアから約束されたカナンを視察するために派遣された。民数記13：17−20
10名の斥候たち、またイスラエルがどうして神に逆らう選択をしたのか、その理由を学ぶ。

A.　主が喜ばれなかった人達：民に災いをもたらした10名の斥候たち
1.　彼らの行い：10人の斥候たち
彼らは「全会衆をモーセにつぶやかせた（14：1−4、36）」。民数記14：28−29、31−33、36

2. 彼らの行いの要因：主への不信仰。7つ記されてある
①「主を侮る」　民数記14：11

②「主を信じない」　民数記14：11

③「主を試みた」　民数記14：22　イスラエルの罪（出エジプト17：1−7）
出エジプト17：7
　　彼らが、「【主】は私たちの中におられるのか、おられないのか」と言って、【主】を試みたからである。

④主の声に聞き従わなかった　民数記14：22

⑤「主につぶやいた」民数記14：27

⑥「主への背信の罪を犯した」　民数記14：33

⑦「主に反抗した」　民数記14：34

だから主がお怒りになられた！14：11−12、29，32−37

3.　彼らの行いの導因：この選択の切っ掛は何だったのか？　13：28−29
「**<u>見た</u>**」に注目　28節　彼らが「見た」4つのもの。

①「土地と産物」を見た　27節
②「住む人々」を見た　28、29節
ツィンの荒野⇒ネゲブ（アマレク人）⇒山地（ヘテ人、エブス人、エモリ人）⇒海岸とヨルダンの川岸（カナン人）が居た。13：29（13：21−23）地図参照
●「**<u>力強く</u>**」とある。それは、モーセが命じたことを実行した。民数記13：18

③「住む町々」を見た　28節

④特筆すべき事があった：「**<u>私たちはそこでアナクの子孫</u>**」を見た　28節
申命記2：10、11、20、21
「レファイム」とは、「巨人」ということ。このような記述がある。申命記3：11
＊また13：33には、「私たちはネフィリム人、ネフィリム人のアナク人を見た。」と。

4. 彼らの結論：13：31−33　カレブとヨシュアが主を信頼して攻め上ろうと行った時の応答
＊「私たちはあの民のところに攻め上れない。」ゴリアテ：1サムエル17：1−7、11

B.　主が喜ばれた人達：二人の斥候たち
1.　彼らの特徴：主を信じ、信頼していた。
①主の御心は必ず成就することを確信していた者たち　14：8

②主への責任を知っていた者たち：主に従うこと　14：9、22、24、申命記10：12−11：1
民数記32：12、ヨシュア14：8 、9

③主を信頼した者たち　14：9、11

④主の約束を信じた者たち　民数記14：6−10

2. 主からの報い　　民数記14：23、29−30

結論：
●見えるものによってではなく、主の御言葉に立って生きる信仰者。
●自分の願いではなく、必ず為される主の御心を求めて生きる信仰者。
ダニエル3：15−18

<u>主がお喜びになる信仰者が必要</u>。